

2021年8月

文字入力をもっと楽に！

文字で始まった2021年、今月は文字入力のお話。パソコンでストレスがかかる作業といえば「文字入力」です。もっと楽になれば、より作業に集中できます。

文字入力をもっと楽に！

パソコンで最も面倒な作業は「文字入力」だと思います。タイプのプロでもない限り、話すように文字を入力することは、なかなか至難の作業です。が、最近は機能も良くなり、パソコンでも音声入力ができるようになってきました。その他、文字入力をサポートしてくれる機能をいくつか紹介します。

①音声入力

Office ソフトの Word、PowerPoint、Outlook には、音声により文字入力ができる仕組みがあります。「ディクテーション」という機能です。ディクテーションには書き取りといった意味があります。

オノにするとパソコンのマイクがオンになります。瞬時に文字変換が行われ、文書として画面上に作られていきます。「。」は「くでん」、「。」は「とうでん」と発音すれば入力できます。ぜひ使ってみましょう。入力がかなり楽になります。（自動変換なので、当然誤変換もありますので、修正は必要となります。）

②単語登録

よく使つ單語や文章、変換しにくい固有名詞などは、語句登録して使ってみましょう。例えば「いつもお世話になつておりまつ。」のようなよく使う文章。この文章のよみを「あいさつ」と登録すれば、「あいさつ」と入力すると登録した語句に変換できます。

③漢字検索

読みがわからない漢字を入力する場合は、辞書機能を使いましょう。「IME パット」を使うと漢字を探すことができます。手書きで探すことや、部首で探すこともできます。

④キーの割り当て

普段あまり使わないキーを「機能キー」として割り当てられます。通常、



Windows Update を行へ

Windows Update せ、月に2回のセキュリティーや機能修正の定期的な更新と、年2回の大型改定の更新とで行われています。

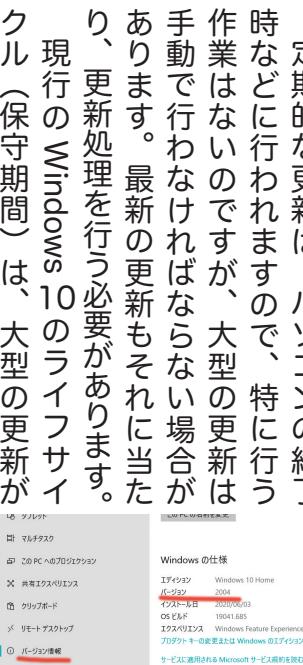
定期的な更新は、パソコンの終了時などに行われますので、特に行う

作業はないのですが、大型の更新は手動で行わなければならぬ場合があります。

最新の更新もそれに当たり、更新処理を行つ必要があります。

現行の Windows 10 のライフサイ

クル（保守期間）は、大型の更新が行われてから「18から30か月」です。更新しないと10といえども保守期間が終了してしまいます。最新のバージョンは「20H2」です。バージョン「1890」では保守期間は終わっています。必ず更新（Update）は行つておきましょう。



バージョンの確認

日本語入力のオン／オフの切り替えは「全角／半角」キーで行いますが、それを「無変換」キーでも行えるようにできます。4種類のキーを割り当てるなどができます。

※便利に使って文字入力のストレスを軽減します。

日本語入力のオン／オフの切り替えは「全角／半角」キーで行いますが、それを「無変換」キーでも行えるようにできます。4種類

のキーを割り当てるなどがで

きます。

便利に使って文字入力のストレスを軽減します。

